

## 令和3年度 諏訪史談会史跡踏査 研修報告

- 1 実施日時 令和3年 11月 27日(土)
- 2 参加者 教育会会員 6名 一般会員 0名 計6名
- 3 実施内容 「大町歴史探訪」

見学場所 仁科神明宮、塩の道ちょうじや・流鏑馬会館、若一王子神社、信州松崎和紙工業  
昼食 創舎わちがい (いずれも大町市内)



国宝・仁科神明宮では氏子総代の方の丁寧なご説明をいただいた。神明造として唯一の国宝指定である本殿に加えて、永和2年(1376)から保存され、重要文化財に指定されている20年に一度の式年遷宮の際の棟札など、貴重な文化財に接することができた。



「塩の道ちょうじや・流鏑馬会館」は、江戸時代の庄屋で塩問屋を営んだ平林家の建物を利用した建物。「塩の道」と呼ばれる千国街道の歴史や、当時の牛方や歩荷の運搬道具、そして大町に伝わる子ども歌舞伎、人々の暮らしなどについて詳細な説明を受けた。



「創舎わちがい」では、県産小麦を使用した細麺「わちがいざざ」や、地元の食材を用いた膳を風情ある建物で味わう。若一王子神社で神仏習合の雰囲気を感じながら参拝する。最後に、仁科神明宮ゆかりの「信州松崎和紙工業」では和紙のはがき作りに、参加者一同熱中して取り組む。

4 成果・反省など 当初計画の小谷村は日没が早いことを勘案し訪れなかったが、代わりに入れた松崎和紙は好評であった。来年度は、一般会員も加えた研修を夏休み中に計画したい。